
教育総合センター だより

NO. 132

平成 26.5.1

教育総合センターのパワーアップを目指して

尼崎市立教育総合センター
所長 佐藤 喜代子



1 はじめに

教育総合センターで2度目の春を迎えました。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。センターは、1年を通して実にさまざまな人が行き来し、活動の場となっていることがわかります。

しかし、学校現場にとって大事な部分を担っていると感じるものの、その意義を理解し有効に活用できているかという点、まだまだ課題があるというのが、正直なところです。

2 課題

「教育は人なり」の言葉にあるように、教員に求められる資質能力が、より一層高いものになっています。社会の変化に迅速にかつ適切に対応するために、これまで以上に、必要かつ高度な専門的知識・技能を修得し適時に刷新していくなどの力も要求されています。本市でも、教職員の世代交代が加速化する中、優れた教育実践を受け継ぎ、質の高い教育を実現する次の世代の育成が急務となっています。

また、子どもたちを取り巻く環境もより複雑化し、情報化が進む背景でいじめ等の問題も知らない間に被害が拡大するといった対応に苦慮する問題も生じています。

3 パワーアップを目指して

教育総合センターでは、今年度から研修体系を見直し、中心となる三本の柱を作りました。「人材育成の強化」「他部門との連携強化」「今日的課題への対応力強化」というものです。これは、研修だけでなく情報や教育相談担当にも共通するものです。より一層、いろいろなところとの連携を強化してパイプを太くし、学校現場が今、必要としていることを提供できること、これから必要とすることにいち早く準備する

ことで、センターの機能性や必要性を前面に出していく必要があると考えています。

具体的には、

「人材育成の強化」に向けての研修内容の精選や研修方法の見直しはもちろんのこと、経年に即した研修のあり方も工夫が必要だと考えています。内容が急に薄まる2年目以降の若手教員研修では、グループでの演習等、必要性の高い内容に変えていく予定です。

また、指導力パワーアップ事業として、拡充が実現しました授業改善アドバイザーをセンターに集結し、中学校だけでなく小学校へも支援の充実を図ることで、授業力を中心として、学級作り、集団作りのポイントを継続的に学校に出向いて指導するという本市独自の取り組みをセンターを拠点として実施します。

「他部門との連携強化」では、特に、学校・園の校内研修や教科等の研究会との連携、地域の大学との連携を研修に活かしていくことで、充実を図りたいと計画しています。

「今日的課題への対応力強化」のために教育の情報化への対応力を鑑みた研修や今後教科化が予想される道徳教育、外国語活動へのいち早い取り組みを始めたいと考えています。

4 おわりに

これらの改善が、学校の教職員が子どもたちに寄り添い、自信と誇りを持って教育活動に専念できること、それが子どもたちの健やかな成長につながることを信じて取り組んでいきます。今後とも、ますますのご理解とご協力、ご活用をよろしくお願いいたします。

教育総合センターの事業の概要

教育総合センターは、教育相談、研修、情報教育の3つの担当で学校を支援していきます。

1 研修担当

研修担当は、研修業務と教育研究業務に取り組んでいます。

(1) 受講しなければならない研修

校・園長研修等の職階別研修、教務担当等の職務に応じた研修を実施します。教職年数別研修では、1年目から中堅教員まで、幅広く教師力を高めるための研修を計画しています。職務に応じた研修の中に主幹教諭、研究担当、学力向上担当研修を加え実施します。

(2) 希望による研修

学校現場が抱える諸問題の解決をサポートするため多様な研修講座を次の分野別に設定しています。

(ア) 教育課題等への対応研修

(イ) 教科等の指導力向上を目指した研修

教育課題等への対応研修では、個人情報漏洩等を防ぐための学校情報セキュリティに関する研修や校務支援システム活用研修を計画し、その充実に取り組みます。また、1～4年目教員には、同世代の授業に学び、授業力・指導力の育成を目指しグループ研修の形態をとる等、より個別の対応をします。

マイスター教員による公開授業研修では、より進んだ授業の追求を提案します。さらに、異校・園種交流研修講座を実施し、幼・小・中・高の連携に役立てていただきたいと思います。

(3) 特別に実施する研修

特別に実施する研修では、喫緊の課題に応じた研修を実施します。

(4) 授業改善アドバイザーの派遣

授業力・学級経営等の指導力向上をめざし

て、9名の授業改善アドバイザーが学校訪問をし、継続的な指導をします。

(5) 自主研修等の支援

自主研修支援を継続します。教員を中心としたグループ、パソコンを活用した事務の効率化研修の支援や、臨時講師の自主研修支援にも取り組みます。

また、学校 ICT 機器の効果的な活用、個別ドリルシステムの活用、学校・園ホームページ作成を支援する研修等で、指導主事の学校・園への派遣を実施します。

また、イブニングセミナーをあらたに開設し、若手教員の課題解決のお手伝いをします。

(6) 教育研究

教育長から委嘱を受けた教員が研究員となり、担当指導主事と共同で、実践的な研究に取り組みます。年度末に各部会による研究発表会を予定しています。

2 情報教育担当

学校 ICT・学校情報通信ネットワークシステムの活用、教育の情報化推進に向けて取り組みます。

(1) 学校ホームページ関係

・申請受付処理、更新(随時)、学校・園ホームページ作成支援研修など

(2) 研修関係

・教育用コンピュータシステム管理担当研修
・校務支援システム活用研修講座
・プレゼンテーション研修講座
・小・中学校初任者対象の情報教育研修
・情報モラル・セキュリティ研修講座
・学校事務処理支援システム活用研修講座

(3) 学校 ICT 関係

・小・中学校 ICT 活用研修
・ICT 機器の整備推進

(4) AMA-NET の管理

・サーバ、ネットワーク、メール等

3 教育相談担当

教育相談担当は、子どもたちが心身ともに健やかに育っていくことを願い、子どもや家庭、学校を支援していきます。

(1) 事業内容

教育相談事業

面接相談、電話相談、出張相談等により、幼児児童生徒（4歳～18歳までの子ども）の望ましい発達を支援します。

心療内科医・精神科医による教育相談も行います。

高等学校カウンセラー派遣事業

市立高等学校にカウンセラー等を派遣し、教職員の研修や心の悩みをもつ生徒及びその保護者の面接相談等を行います。

スクールカウンセラー配置事業

県教育委員会が、19全中学校及び11小学校にスクールカウンセラーを配置します。連携校の小学校も活用できます。

(2) 教育相談の現状

平成25年度の相談件数及び相談内容は次のような状況です。

面接相談（延べ）	2847件
電話相談	1582件
出張相談	
幼児児童生徒対象	51件
子育て研修会等講話	7件
面接相談内容	
精神情緒（不登校等）	38.5%
性格行動（友人、親子関係等）	33.9%
身体言語（発達遅滞等）	19.6%
学業進路（学習、進路等）	6.9%
その他（教員の相談等）	1.1%

フィルム・ライブラリーのご案内

視聴覚センターでは、視聴覚教材・教具の貸し出しや活用の助言等を行っています。

- 1 利用時間 午前9時～午後5時
（土・日・祝日、年末年始を除く）
- 2 学校関係者が利用する場合

(1) 貸し出しの申込み

申込書に必要事項を記入し、利用される3日前までに視聴覚センターに提出してください。

(2) 貸し出し数量・期間

教材 1回につき4本以内で4日以内

教具 1回につき1台（式）で4日以内

(3) 利用報告書の提出

視聴覚教材・教具利用報告書に記入し、これを添えて提出してください。

3 16ミリ教材・教具の貸し出し

16ミリ映写機及び16ミリ映画フィルムの貸し出しについては、当センター発行の認定証又は16ミリ映写機操作技術講習会を受講したことを証明する物を所持している方が対象になります。

4 その他

申込み等の用紙は視聴覚センターまで
問い合わせ先 6423-3400

貸出し対象の教材・教具

教 材	16ミリ映画フィルム	390巻
	スライドフィルム	16巻
	ビデオテープ（録画教材）	664本
	T P教材	9本
	C D	10本
教 具	D V D	64本
	16ミリ映写機	10台
	スライド映写機・OHP	各1台
	DVDプレイヤー	3台
	スクリーン	12枚
	暗幕（2m×4m）	7枚
液晶プロジェクター	2台	

教育総合センター事務分掌表

平成26年5月1日現在

教育総合センター所長 佐藤 喜代子

研修担当		6 4 2 3 - 3 4 0 0	
教職員研修 教育に関する調査・研究・教材開発 教育総合センターの運営・計画調整 予算管理 文書管理 教育情報収集・整理・提供 情報誌の発行 教科書センターの管理			
係長	桑野 光枝	研修担当の統括、特別臨時研修、指導力パワーアップ事業、教育総合センターの運営 児童生徒文化充実支援事業、計画調整、予算・決算・管理	
指導主事	柳 伸彦	県立教育研修所関係、研究所連盟、特別支援教育関係、初任者研修（小）、3年目教員 【研修・・・研究担当、生徒指導担当、OJT教員、特別支援コーディネーター担当 管外転任教員、幼児教育関係】	
指導主事	鎌原 輝明	海外・中央派遣研修、初任者研修（中）、5年次教員、7年目教員、養護教諭 栄養教諭、主幹教諭、兵庫教育大学大学院派遣、中学校全体教科研究会 【研修・・・校園長、主幹教諭、拠点校指導員、常勤の臨時講師】	
指導主事	西田 一義	県管理職研修、新任教員研修（幼）、4年目教員（異校・園種交流） 教員指導力向上研究支援事業、名簿管理、マイスター事業関係、児童生徒文化発表会 【研修・・・新任教頭、防災・安全教育担当】	
指導員	相方 伸二	初任者研修（高）、2年目教員、10年経験者研修（幼・小・中）、15年次教員 20年目教員、高等学校関係、大学との連携事業、名簿管理、児童生徒文化発表会 【研修・・・新任校園長、教頭、教務担当、外国語活動担当】	
主任	池内 猛	予算・決算、複合施設の維持管理、庶務	
嘱託員	眞鍋 憲司	教育情報誌の発行、学校相談	嘱託員 幾田みよき 資料収集・提供、教科書センターの管理
嘱託員	田中 誠一	授業改善アドバイザー（中学校）	嘱託員 倉橋 忠 授業改善アドバイザー（中学校）
嘱託員	大龍 雅子	授業改善アドバイザー（中学校）	嘱託員 尾崎 一郎 授業改善アドバイザー（中学校）
嘱託員	木村 啓子	授業改善アドバイザー（中学校）	嘱託員 小笹 雅幸 授業改善アドバイザー（小学校）
嘱託員	大川 泰三	授業改善アドバイザー（小学校）	嘱託員 山内 宏美 授業改善アドバイザー（小学校）
嘱託員	山村 定美	授業改善アドバイザー（小学校）	臨時職員 久保 泰子 管理業務事務補助

情報教育担当		6 4 2 3 - 3 4 0 0	
教職員研修 情報教育に関する調査・研究・教材開発 教育の情報化推進(ICT活用)・情報モラル 教育・ネットワークシステム活用 複合施設の維持管理 視聴覚センターの運営・計画調整			
総括・係長	土高 伸也	情報教育担当の統括、研修管理、視聴覚センターの運営・計画調整 教育の情報化推進、文書主任	
指導主事	大森 康充	新任管理職PC、AMA-NETの管理(ネットワーク・メール・ホームページ等)、中学校PC	
指導員	東江 潤	ドリルシステム、小学校・特別支援学校・琴城分校PC、セキュリティ(校務支援)システム	
嘱託員	上玉利敏昭	学校事務処理支援システム、視聴覚ライブラリー管理、16ミリ映写機操作技術、学校相談	
臨時職員	吉廣 千尋	情報教育ネットワーク管理事務補助	臨時職員 山崎 敏広 情報教育ネットワーク管理事務補助

教育相談担当		6 4 2 3 - 2 5 5 0 (電話相談06-6429-7564)	
教育相談(面接、出張) 心療内科医・精神科医による教育相談 高等学校カウンセラー派遣事業 電話相談 スクールカウンセラー配置事業 教育相談に関する調査・研究・研修			
係長	細間 亜季	教育相談担当の統括、教育相談、電話相談、調査研究	
指導主事	太田 和樹	教育相談、電話相談、調査研究、高校カウンセラー派遣事業、スクールカウンセラー配置事業	
嘱託員	岡本 敦	教育相談、電話相談、調査研究	嘱託員 田中 優喜 教育相談、電話相談、調査研究
嘱託員	太田 有希	教育相談、電話相談、調査研究	嘱託員 奥田 佐恵 教育相談、電話相談、調査研究
嘱託員	立花 直子	教育相談、電話相談、調査研究	嘱託員 採用予定 教育相談、電話相談、調査研究(5月12日より)
相談の受付午前9時～午後5時30分です。		臨時職員 岸本 亜紀	調査研究、庶務(5月9日まで)

開館時間のご案内 平日 午前9時～午後9時 (土・日・祝日・年末年始は利用できません。)	発行 尼崎市立教育総合センター (尼崎市三反田町1丁目1番1号) 発行者 佐藤 喜代子 題字 尼崎市教育委員 岡本 元興
---	--